

2026年1月海洋観測結果について

1月7日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の中1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤 崎 ラ イ ン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
荒天のため未実施				
長 尾 鼻 ラ イ ン	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長 尾 鼻 ラ イ ン	ST-6	荒天のため未実施		35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

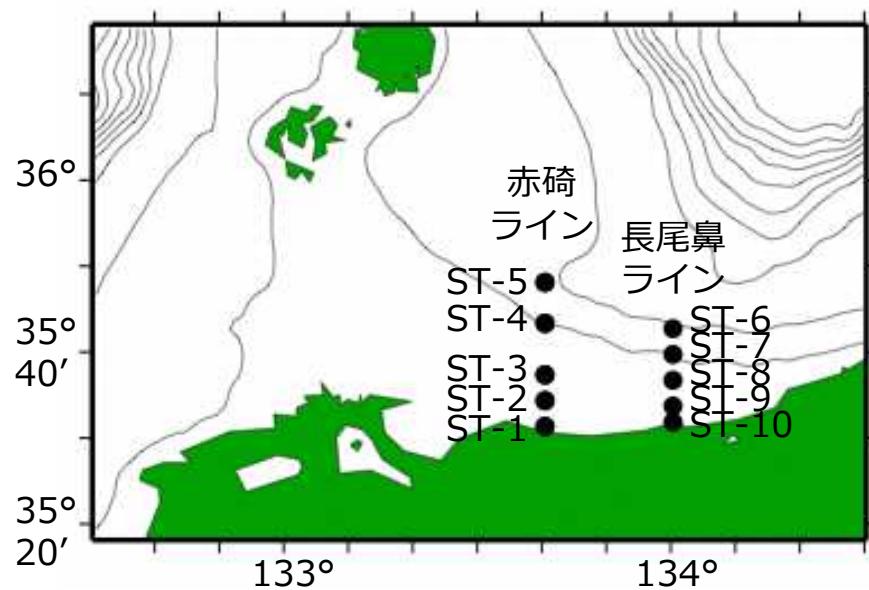


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤崎ライン、長尾鼻ラインSt.6
は荒天のため実施していません。

長尾鼻ラインは表層から水深
100mまで14~15°C台でした。

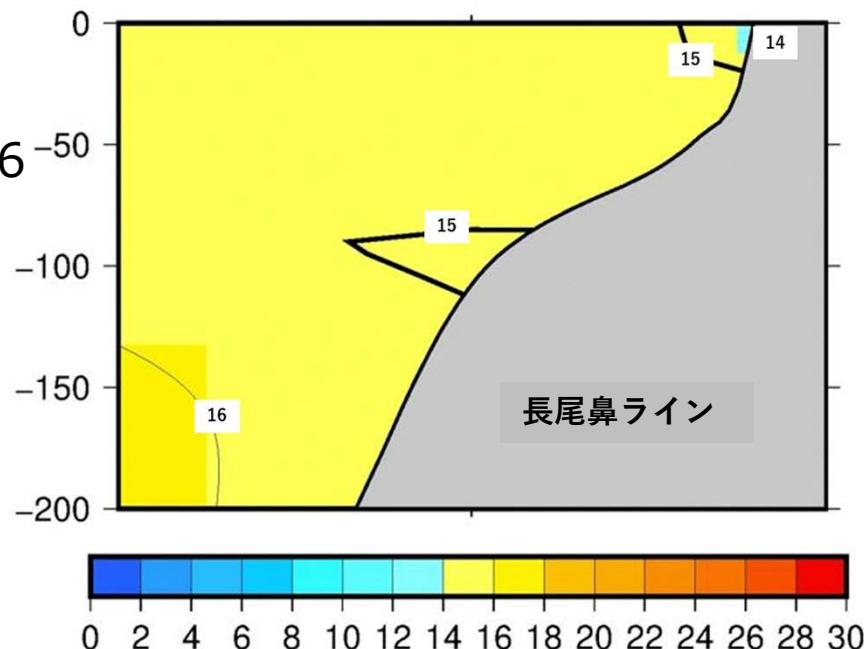


図2 鉛直分布図（海水温の単位：°C）

【水深帯別の比較】

長尾鼻の表層から水深50mまでの水温は前月より、3.4~4.0°C低くなっていました（表2）。これは12月の平均気温は平年より5.0°C前後高いものの、11月から3.1~5.1°Cと急激に低下したことによると考えられます（表3）。

また表層から水深50mまでの水温差は1.0°C以下と小さく、冬期の季節風による鉛直混合が進んでいると考えられます（図2）。

表2 長尾鼻ラインの12月と翌1月の平均水温

長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m
12月	18.9	19.0	18.8
1月	14.9	15.5	15.4
水温差	-4.0	-3.5	-3.4
			(°C)

表3 鳥取県の2025年12月の各旬の平均気温

	平均気温	11月との差	平年値
12月上旬	8.5	-5.1	4.4
12月中旬	8.5	-3.1	3.0
12月下旬	7.2	-4.2	2.3

※平年値は1991~2020年の値から算出

(気象庁HPより)

参考

気象庁.“過去の気象データ検索”.気象庁.

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/nml_sfc_10d.php?prec_no=69&block_no=47744&year=&month=&day=&view=p1
(参照2025-08-12)